

川西まちづくり委員会の活動状況を報告します

平成30年度の川西まちづくり委員会の主な部会の活動の状況を、報告いたします。

総務部会

赤羽 武 幸 部会長

委員会の規約と組織の見直しを行っています。主な見直しのポイントは次のとおりです。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (1) 委員会が行う事業 | (2) 総会規程の明確化と審議する事項 |
| (3) 運営委員会の機能の強化 | (4) 事務局の機能の追加 |
| (5) 役員選考委員会の設置 | (6) 部会構成 |

その他、改正予定の規約等については、来年度の総会で承認が得られるよう協議を重ねています。

子育て教育部会

若 林 みゑ子 部会長

＜太鼓3団体演奏会＞

第3回目となる川西地域の太鼓3団体の演奏会を開催しました。

川西地域の太鼓3団体とは、東山道浦野宿勇太鼓、室賀の里豊年太鼓、岡城夢太鼓の皆さんです。この演奏会では、子どもの打ち手が主役となっていて、子どもたちの日ごろの練習の成果が十分に発揮された素晴らしい演奏でした。



＜小中学校先生との懇談会＞

今年1月には、浦里小、川西小、第六中の各校から先生をお招きし、子供たちの学校の中での様子など現状についてお話ししていただきました。この話し合いの中から、学校と連携して行うことのできる部会の活動も見えてきたことから、来年度の事業として検討していきたいと考えています。

昨年度から試験的に実施している「干し柿事業」ですが、今年度は事業規模を拡大して実施しました。

地域内には多くの柿の木があります。その柿の実は、以前は冬場の保存食料として重宝されてきましたが、昨今は木から取られることもなく、鳥獣のエサとなるか、朽ちていくだけとなっている実が多くあります。

そこで、川西地域の6次産業として事業化が可能かどうか、試験的に実施しているものです。今年度は、部会の委員11名と募集に応じてくれた協力者6名を加えて、1,500個の柿を採取し商品化に取り組みました。

干し柿作成の工程としては、柿の収穫、皮むき、吊るし、硫黄燻蒸、ヘタ切り、柿揉み、シール貼とパック詰めなどがあり、約3か月にわたり作業が行われました。完成品は12月下旬の“農産物直売所いずみの里”朝市で販売され、完売となりました。

なお、今回も長野県農村工業研究所の滝沢さんにご協力をいただきました。



部会では、安心して暮らすことができる地域づくりを目指しており、今年度は、「防災訓練ハンドブック」の作成と「防災講演会」を実施しました。

いざという時の安心・安全を確保するため、定期的に防災訓練を行うことが大切です。「防災訓練ハンドブック」は、日頃からの心構え、災害時等を想定した準備、防災訓練の必要性、防災訓練の内容等についてまとめたもので、3月に各家庭に配布します。身近なところに置いて、時々目を通していただきたいと思います。

「防災講演会」は、2月9日（土）に、各自治会の自主防災組織や地区外の方々など約190名の方が参加されました。信州大学の廣内教授を講師に招き、「大地震に備えるための地域の取り組みとは何か」と題して、大地震への備えとして何が必要なのか、避難所生活に伴う地域コミュニティの重要性などについて、お話しいただきました。

